

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
発行人 見崎徳弘

第63号 1998年5月15日

不況打開、くらしを守れ!

5.20愛知怒りの決起集会

日時 5月20日(水)18:30開会
場所 久屋市民広場
集会後伏見までデモ行進



第69回愛知県中央メーデー 10,000人参加 労働法制改悪阻止 国民本位の不況打開 消費税を3%にもどせ 日米ガイドライン許すな



青年協作製「ピカチュウ」夜中の三時までかかって作り、前日も会場に泊まり込んで準備しました。残念ながら入賞は出来なかったけど、「みんなでやったぞっ」という満足感はいっぱいです。これからもこういう満足感を味わえる運動をしていきたい。

デコレーション、プラカードには怒りや要求がいっぱい!!

許せん悪政!! 橋本内閣はちめよ

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をスローガンに第六九回愛知県中央メーデーが、名古屋市中区白川公園で開催されました。

このような情勢のもとで開かれたメーデーは、労働法制改悪反対!、消費税を3%に戻せ!、国民本位の不況打開!、年金・医療の改悪阻止!などの要求を掲げ、実現をめざす決起の場となりました。

若手の多い組合なのでメーデーに参加するといろんな人がいっぱい倒れます。仕事は忙しく残業もしよっちゅう。もつとゆとりある働き方がしたいですね。

労働法制連絡会からは弁護士の恒川雅光氏が、「労基法改悪を断固阻止し人間らしく働くためのルールを確立しよう!」と激励をしました。



全損保・近藤祥子さん(左)と国立麻子さん

会場には、デコレーションやプラカード、横断幕が並び、たたかうメーデーの決意をいたしました。

デコレーション
コンクール受賞
最優秀賞
名古屋市職労教事支部
青龍懲勸橋龍とは



橋本内閣の悪政阻止という意味
優秀賞
郵産労名古屋南部支部
知多半島くらしの連絡会
名港労協
名水労本庁支部

地域メーデー

県下七カ所
二二五〇名の参加



豊橋地区メーデー

安城地区メーデー
不況打開以上に、労働法制改悪反対の声やプラカードが目についた今年のメーデー。特別決議もあげた。



尾張中部地区メーデー

今年から尾中地区メーデーに名称変更。参加者も四五〇名と定着。会場でおこなったバザーも大好評。



一宮地域メーデー

尾東地域メーデー
市民にも参加してもらおうと新聞折り込みで知らせ、市民アンケートも実施。
集会とデモだけでなく自治体要請、無料なんでも相談なども。

「消費税3%にもどせ」、「労働法制の大改悪反対」などを訴え、一時間にわたリデモ行進。



尾北地域メーデー
参加記念の帽子をかぶり主張し行動することの大切さを市民に訴えた。

核兵器廃絶ねがい

私たちが歩きます



95年 被曝50周年の年に東京 広島まで通し行進

一九九八年国民平和行進が五月六日、東京・夢の島を出発しました。
愛知から、黄柳野高校三年生の吉田岳洋くんが広島まで歩きます。県内通し行進は、年金者組合の西岡久男さんが、お二人の思いを聞きましました。

今年も歩きつづける

喜びみつめて

西岡久男(六四歳)さんは、今年も県内を歩き続け、岡さんは、「全国にいるたくさん仲間、定年を機

会に挨拶をしよ。これからは、草の根の平和運動をやるよ」という思いから退職した九五年、通し行進者として東京から広島まで歩きました。

「これまで平和行進は、禅の哲学の黙々と歩くことで自分の思いを伝えるという気持ちで歩いてきた。ところが、通し行進で一緒に歩いた高校生や若い人たちが、私の考えを変えた。ごく普通の若者が、歌を歌い手を振りながら楽しそうに歩いている。誰でも参加し、楽しく歩けばいいんだ」と、それからは、平和行進に参加するのが楽しみになりました。

「若い人と話す機会が少ないので、高校生たちと仲良くなれることが一番」と西岡さん。毎回歩く中で、楽しみも見つけています。

いろんな人との 出合い 楽しみに

吉田岳洋くん(一七歳)は、二年生の一学期に先輩に誘われて、神戸でボランティアをしました。仮設の引越しの手伝い、住宅の草むしり、お年寄りの話し相手など。この体験を通して、人の役に立つ喜びを心と体で感じたそうです。何かしたいという気持ちが高まっていた時に先輩から、「平和行進に参加したら

どうか」とすすめられ、やる気が出てきました。三ヶ月も歩ける心配は、春日井平和委員会の事務局長としての仕事も忙しく、毎月6・9行動も欠かさずやっています。

「国民平和行進に参加する吉田岳洋君を応援する会」をつくり、募金活動も兼ねて吉田君の大きな支えとなっています。



吉田君(写真左)と「応援する会」のなかま

愛労連結成まで

前愛労連議長 井上 利雄

愛労連結成について私たちは、労働界の先輩や民主勢力の仲間皆さんから、力強く温かい励ましを受けました。「連合」愛知に比べ、組織数では劣勢でした。それだけに私たちは、これらの励ましに大きく支えられ、たまたか労働運動の再生とその本流を歩む自負をバネに、意気高く立ち上がっていくことができました。また同時に、要求運動と統一戦線運動の具体的な役割を期待した熱い思いが寄せられました。ここに愛労連結成時に寄せられた声を紹介します。

各界から力強く 暖かい励まし

シリーズ No.3

「組合員が主人公ではなく、資本の論理である反共主義で労働者を分断し、労使協調でたたかわない『連合』では、労働者のくらしや権利が守られず。」(前愛労連議長・成瀬昇)

多数派になり労働運動の本流になることは確かです。」(前愛労連議長・成瀬昇)

「愛知ローカルセンターは、労働者・国民の大多数を代表しています。多数派になり労働運動の本流になることは確かです。」(前愛労連議長・成瀬昇)

「労働者のたたかいは、皆と同時に非核・平和・くらし・教育を守る、革新県政・市政の建設など県民要求共同闘争の統一のなめとして、いっその発展を。」(新婦人会長・青山三枝)

「一家団らんでゆとりと夕食をしながら、子どもと会話をしめる人間らしい生活を取りもどしたい。これはすべての働く人々の願いです。そんな願いを受けとめ、たたかう組織として愛知ローカルセンターが結成されることはすばらしいことです。」(愛保協会会長・河本ふじ江)

女性協がおもしろい

組合に入って一番印象に残ったことは、中央での行動に参加して、国会議事堂近くの公園でシュプレヒコールをしたことです。春になりテレビでよく見ていた春闘の風景の中に自分があることに驚きました。今、分会の女性協議会に参加しています。活動が活発で委員会などでは盛んに議論します。そんな雰囲気だから私も発言します。今から思えば反省することもありますが、発言できたことは満足しています。これからは、もう少し自分の発言に責任を持てるようになりたいですね。



組合に入って一年余、たくさんのお話を聞き学びました。今、分会の女性協議会に参加しています。活動が活発で委員会などでは盛んに議論します。そんな雰囲気だから私も発言します。今から思えば反省することもありますが、発言できたことは満足しています。これからは、もう少し自分の発言に責任を持てるようになりたいですね。

自治労連・瀬戸市職労



四月十一日(土)多治見市にある地球村で新規職員(十二名)の参加でおこないました。当日は降った雨も上がり、爽やかな天気の中で、キックベースとパーベキュー、オリエンテーリングを楽しみました。はじめに書記長の遠藤さんからの話。いつもは話しが長いので、「あいさつは短くネ」とあらかじめお願いしてあったのが功を奏し、本当に短かった。ゲームで四つにチーム分けをしたあと、キックベースに移りました。盗塁、三振なしなどの単純なルールのもとで、童心にかえって

プレー。フレッシュマンだけに、みんなさすがに元気印!。男の子たちは、みんな汗だくのハッスルプレーでした。昼食は、パーベキューとカレー。野菜を切る人、炭火をおこす人、お米を研ぐ

「これまでも楽しく調理し、腹一杯食べて飲んで交流しました。再度のチーム編成後、地球村各地に配置したクイズをチーム対抗で解くオリエンテーリングをしました。瀬戸市職労の委員長の名

川村 たけし記

大きくひろげよう 助け合いの輪

★火災 生命 交通 医療
年金 行事費 外共済 etc

お問合せ・申込
愛知共済会
052 883-6951
または 加入組合の共済担当者まで